

どちらかを○で囲む

建設リサイクル法第12条の規定による説明書（当初・変更）

契約日前日までの日付

年 月 日

（あて先） 下関市長 様

氏名 ○○建設（株） 代表取締役 関門 太郎

住所 下関市○○町○丁目○番○号

（担当者：関門次郎）電話番号 000-000-0000

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第12条第1項の規定により、対象建設工事の通知に係る事項について、次のとおり説明します。

工事名（ ○○市場解体撤去工事

該当事項の□欄に「レ」を付すか「■」とする

工事の種類		建築物の解体工事			
工事着手の時期※		○年 ○月 ○日			
工程 毎の 作業 内容 及び 解体 方法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法		
	①建築設備・内装材等	建築設備・内装材等の取り外し ■有 □無	■ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（ ）	原則手作業、 そうでない場 合は理由を記 入	
	②屋根ふき材	屋根ふき材の取り外し ■有 □無	□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（ ）		
	③外装材・上部構造部分	外装材・上部構造部分の取り壊し ■有 □無	□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用		
	④基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの取り壊し ■有 □無	□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用		
	⑤その他 （ ）	その他の取り壊し ■有 □無	□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用		
工事の工程の順序		■上の工程における①→②→③→④の順序 □その他（ ） その他の場合の理由（ ）			
建築物に用いられた 建設資材の量の見込み※		○○ トン 建設資材の総量を記入			
廃 棄 物 発 生 見 込 量	特定建設資材廃棄物の種 類ごとの量の見込み及び その発生が見込まれる建 築物の部分	種 類	量の見込み	発生が見込まれる部分（注）	
		■コンクリート塊	△△トン	□① □② □③ ■④ □⑤	
		□アスファルト・コンクリート塊	トン	□① □② □③ □④ □⑤	
		■建設発生木材	□□トン	■① □② □③ □④ □⑤	
(注) ①建築設備・内装材等 ②屋根ふき材 ③外装材・上部構造部分 ④基礎・基礎ぐい ⑤その他					

特定建設資材の種類ごとに発生
する見込みがある場合に記入

(注)の部分ごとに発生が見込まれる、
又は使用する部分が有る場合に記入

どちらかを○で囲む

別紙様式④-1

法第13条及び省令第7条に基づく請負契約に係る書面の記載事項(当初・変更)

提出日

年 月 日

(あて先) 下関市長 様

氏名 ○○建設(株) 代表取締役 関門 太郎

住所 下関市○○町○丁目○番○号

(担当者: 関門次郎) 電話番号 000 - 000 - 0000

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第13条及び特定建設資材に係る分別解体等に関する省令第7条に基づき、建設工事請負契約書に記載すべき解体工事に要する費用等については次のとおりです。

工事名 ○○市場解体撤去工事

1. 解体工事に要する費用

(受注者の見積金額……直接工事費)

金額を記入

0000 円(税込)

2. 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用

(受注者の見積金額……直接工事費(再資源化施設の受け入れ価格と再資源化施設までの運搬費を加えたもの))

0000 円(税込)

3. 分別解体等の方法(建築物に係る解体工事の場合)(該当事項の□欄に「レ」を付すか「■」とする)

工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
①建築設備・内装材等	建築設備・内装材等の取り外し ■有 □無	■手作業 □手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()
②屋根ふき材	屋根ふき材の取り外し ■有 □無	■手作業 □手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()
③外装材・上部構造部分	外装材・上部構造部分の取り壊し ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
④基礎・基礎ぐい	基礎・基礎杭の取り壊し ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
⑤その他()	その他の取り壊し □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

原則手作業、そうでない場合は理由を記入

4. 再資源化等をするための施設の名称及び所在地

分別解体の有無にかかわらず工事の作業内容をチェック

別紙のとおり

